

NO	図書分類	タイトル	著者	コメント
1	913	院長選挙	日下部 羊	天都大学医学部付属病院の病院長が謎の死を遂げた。自殺説や謀殺説がささやかれるなか、新しい病院長を選ぶべく院長選挙が開かれる。4人の副院長の中で院長の座に就くのは誰か？医師たちの序列と差別、傲慢と卑屈だけを描いた医療小説
2	910	若い読者のための短編小説案内	村上 春樹	戦後日本の代表的な作家六人の短編小説を、村上春樹さんがまったく新しい視点から読み解く画期的な試みです。「吉行淳之介の不器用さの魅力」「安岡章太郎の作為について」「丸谷オーと変身術」…。自らの創作の秘訣も明かしながら論じる刺激いっぱいの読書案内。
3	913	真ん中の子どもたち	オン ユウジユウ 温 又柔	台湾人の母と日本人の父の間に生まれ、日本で育った琴子は、中国語を勉強するため留学を決意する。同じく台湾と日本のハーフ嘉玲、両親が中国人で日本で生まれ育った舜哉と出会い…。自らのアイデンティティを探し求める若者たちの姿を描き出す青春小説。
4	913	とるとだす	畠中 恵	廻船問屋兼薬種屋、長崎屋の主・籾兵衛が突如倒れてしまった。その口元からは濃い薬の匂いがしたという。若だんなど妖怪たちは、籾兵衛が飲んだと思しき薬を探すことにするが…。シリーズ第16弾。
5	913	おばちゃんたちのいるところ	松田 青子	追いつめられた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌脱ぎにやってくる—松田青子、はじける！愉快な連作短編集。
6	913	デンジャラス	桐野 夏生	君臨する男。寵愛される女たち。文豪が築き上げた理想の「家族帝国」と、そこで繰り広げられる妖しい四角関係…。日本文学史上もっとも貪欲で危険な文豪・谷崎潤一郎の「業」を描く。
7	913	祝言島	真梨 幸子	2006年12月1日、東京で3人の人物が殺された「12月1日連続殺人事件」。大学生のメイは、この未解決事件を追うテレビ番組の制作会社でアルバイトをすることに。無関係に見える3人の被害者の共通点から、“消された島”の禍々しい歴史が暴かれる…。
8	913	この世の春(上)	宮部 みゆき	それは亡者たちの声？それとも心の扉が軋む音？正体不明の悪意が怪しい囁きと化して、かけがえのない人々を蝕み始めていた。青年は、恐怖の果てにひとりの少年をつくった。悪が幾重にも憑依した一族の救世主に、この少年はなりうるのか。

9	913	この世の春(下)	宮部 みゆき	謎の扉がまたひとつ開き、恐怖の黒い淵が口をあける。 尊厳を犯す前代未聞の復讐劇とは？底知れぬ悪意のにじむ甘い囁き。 かけがえのない人々の尊厳までも、魔の手は蝕んでゆく。 作家生活30年を飾る記念碑的サイコ&ミステリー長編小説。
10	910	それでもこの世は悪くなかった	佐藤 愛子	人から見たら悲劇かもしれない人生。しかし、正々堂々、力いっぱい生きた私は いま、満足だ…。 「自分でもワケのわからない」佐藤愛子ができ、幸福とは何かを悟るまで。 93歳、初の語り下ろし人生論。